

## VI. 多文化共生について（問 12～問 14）

多文化共生とは、国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを言います。

豊橋市では、『豊橋市多文化共生推進計画 2014－2018』を策定し、多文化共生の実現に向けて、様々な事業を推進しています。

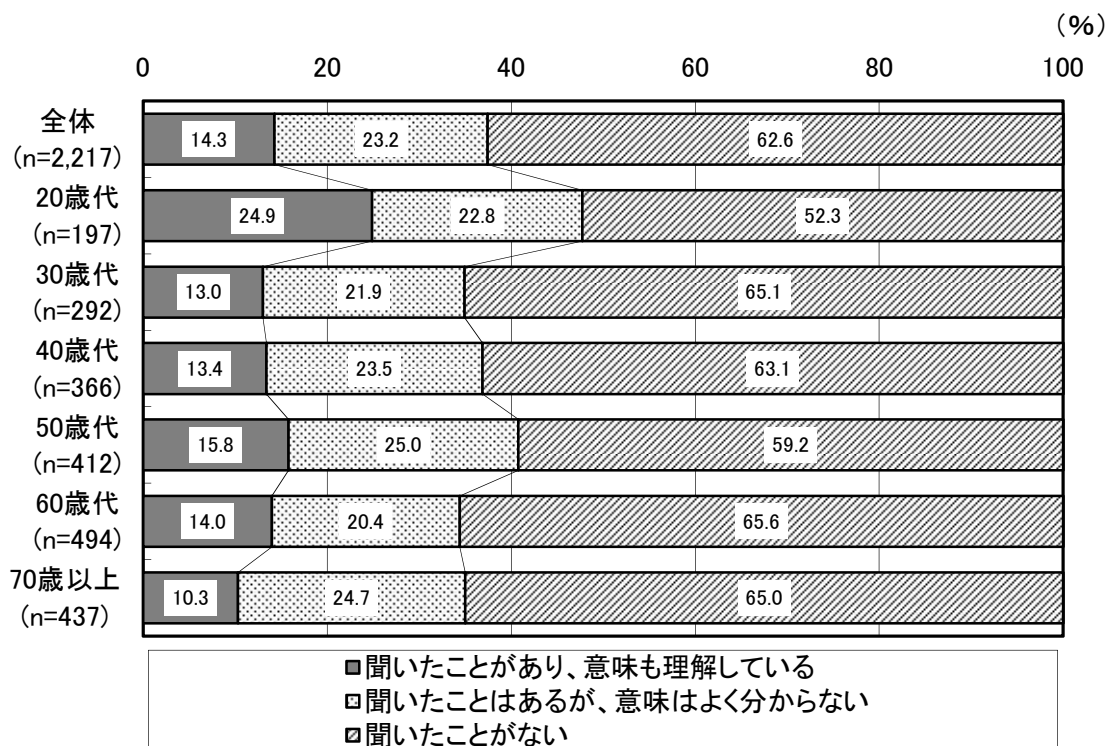
【問 12】あなたは「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(n=2, 217)

### （1）全体的傾向

「聞いたことがない」と回答した人の割合が約 63%を占め、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」を合わせた「聞いたことがある」人の割合が約 38%となっている。

### （2）年代別にみた特性

20 歳代で「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」を合わせた「聞いたことがある」人の割合が約 48%となっており、他の年代と比べ高くなっている。



【問 13】豊橋市には約 1 万 4 千人の外国人市民が共に暮らしています。あなたは地域に外国人市民が増加することをどう感じますか。(n=2, 215)

(1) 全体的傾向

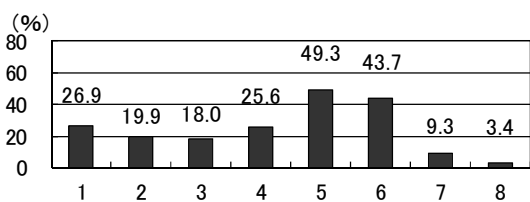
「習慣や文化の違いがあり、不安を感じる」と回答した人の割合が約 49%と最も高く、次いで「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が約 44%となっている。

(2) 年代別にみた特性

各年代で「習慣や文化の違いがあり、不安を感じる」と回答した人の割合が約 43%~54%、「治安が悪化する可能性があると感じる」と回答した人の割合が約 34%~51%と高くなっている。

また、30 歳代では「外国の言葉や文化・習慣に接する機会が増えると感じる」と回答した人も 40%と高くなっている。

●全体(n=2,215)

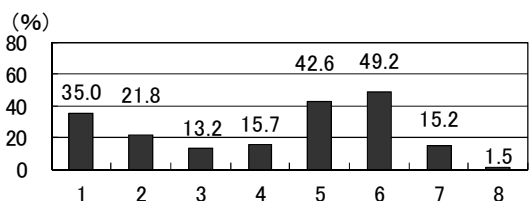


1. 外国の言葉や文化・習慣に接する機会が増えると感じる
2. 外国人と地域で交流でき、望ましいと感じる
3. 同じ地域で共に生きるパートナーであると感じる
4. 地域の経済を支える労働力として必要と感じる
5. 習慣や文化の違いがあり、不安を感じる
6. 治安が悪化する可能性があると感じる
7. 特に何も感じない
8. その他

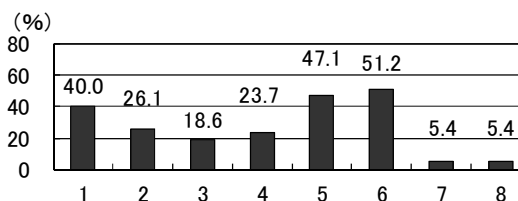
(複数回答)

●年代別

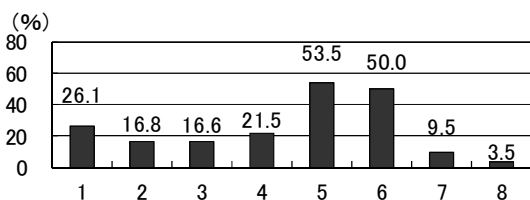
20歳代(n=197)



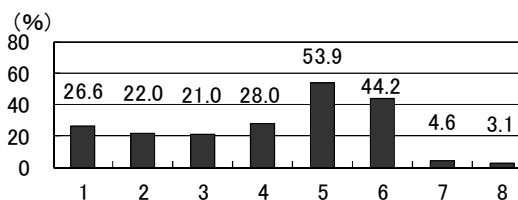
30歳代(n=295)



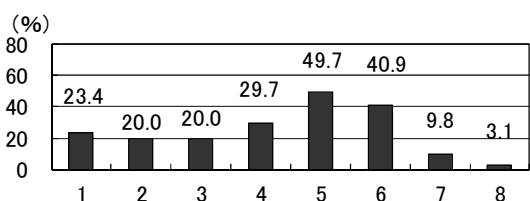
40歳代(n=368)



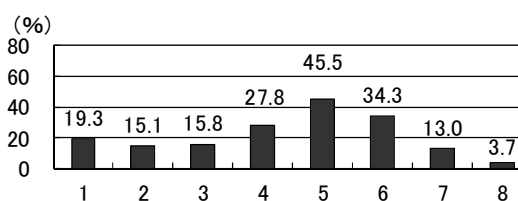
50歳代(n=414)



60歳代(n=491)



70歳以上(n=431)



【問 14】あなたは外国人市民と共に暮らしやすい社会にしていくためには、どんな取り組みが必要だと思いますか。(n=2,131)

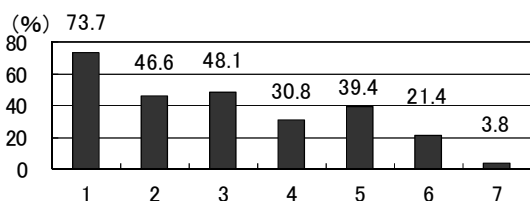
(1) 全体的傾向

「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が約 74%と最も高く、次いで「外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童・生徒の教育の充実」と回答した人の割合が約 48%となっている。

(2) 年代別にみた特性

各年代で「日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知」と回答した人の割合が約 61%~81%と最も高くなっている。

●全体(n=2,131)

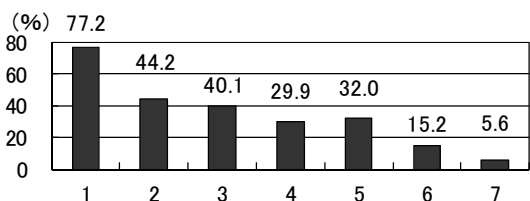


1. 日本の生活ルールや習慣、文化の違いについての周知
2. 外国人市民のための相談体制の充実や、多言語での情報提供
3. 外国人市民への日本語の学習機会の提供、外国人市民の児童・生徒の教育の充実
4. 異文化理解や外国人市民と交流する機会の提供
5. 外国人市民が地域社会へ積極的に参加できるような機会の提供
6. 市民団体やボランティアによる外国人市民への支援
7. その他

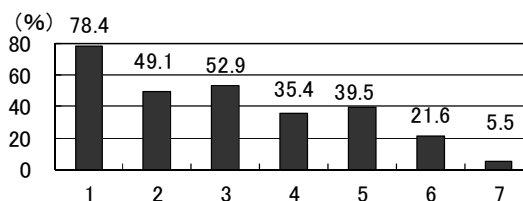
(複数回答)

●年代別

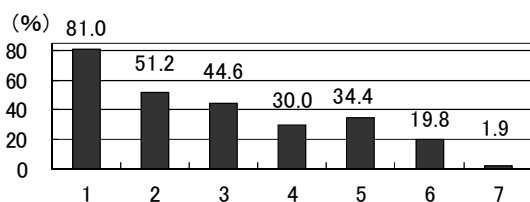
20歳代(n=197)



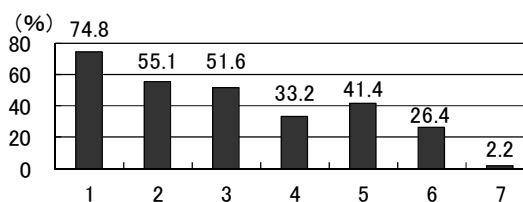
30歳代(n=291)



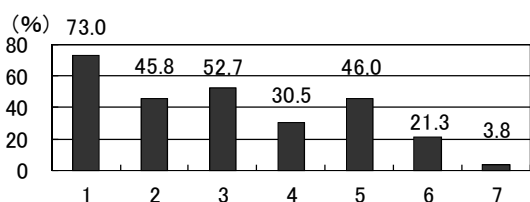
40歳代(n=363)



50歳代(n=401)



60歳代(n=478)



70歳以上(n=387)

